

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124100	空港利用促進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	2	公共交通の確保			
目的	いわて花巻空港の利用促進					
対象	いわて花巻空港の利用者					
意図	いわて花巻空港の利用者増加を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 空港利用促進関係団体への支援 1,773千円 ・岩手県空港利用促進協議会等への支援、並びに連携した利用促進活動を実施 <input type="checkbox"/> 要望活動・PR活動 363千円 ・空港路線網の拡充等にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	航空会社、国等への要望活動	回	計画	10	10	
			実績	11	5	
②	利用促進協議会等関係団体との協議、検討会	回	計画	10	10	
			実績	11	10	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	花巻空港利用者数	人	目標	423,000	431,000	
			実績	440,749	481,859	
②	定期便路線数（国内、国際）	路線	目標	4	4	
			実績	4	6	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
岩手県をはじめとした関係団体と一体となった利用促進の取り組みにより、空港利用者は前年度比109.3%と増加した。また、平成30年8月には台湾便、平成31年1月には上海便が就航し、国内4路線、国際2路線となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	観光客、ビジネス客が花巻市に訪れるための公共交通であるが、利用促進等PR活動を展開しないと利用率の低下が懸念され、路線の便数減や運休に繋がる恐れがあることから、岩手県や市、関係機関が連携して利用促進活動に取り組む必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	花巻空港整備が終了（H23.7より供用開始）し、大幅な機能向上が図られた。このことから、国際線のチャーター便就航や定期路線開設に向けた取り組みや、花巻空港の利便性のPRを、関係機関と連携を図りながら進めていく。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	関係団体の活動見直しを提言するなどして一本化できる活動等があれば、負担金補助金を削減する余地はある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	花巻空港の利便性向上は、花巻空港を利用する全ての方に受益があり、公平・公正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
利用率低下は路線運休に直結することから、利用促進のため利便性のPR活動等は今後も重要であり、関係機関と引き続き連携を図っていく必要がある。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	124100	空港利用促進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,281	2,136		△ 145
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,281	2,136		△ 145

※特定財源の内訳

--

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標
いわて花巻空港の利用を促進させます

事業開始の背景・経緯
花巻空港は、当市に所在する岩手県の空の玄関口として、市民・県民生活の利便性向上や経済発展に大きく寄与しているが、より一層の機能強化と利用促進のため、各協議会へ加入し一体となって活動することが重要である。

事業概要
○空港利用促進関係団体への支援 1,773千円
・岩手県空港利用促進協議会等への支援、並びに連携した利用促進活動を実施
○要望活動・PR活動 363千円
・空港路線網の拡充等にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動

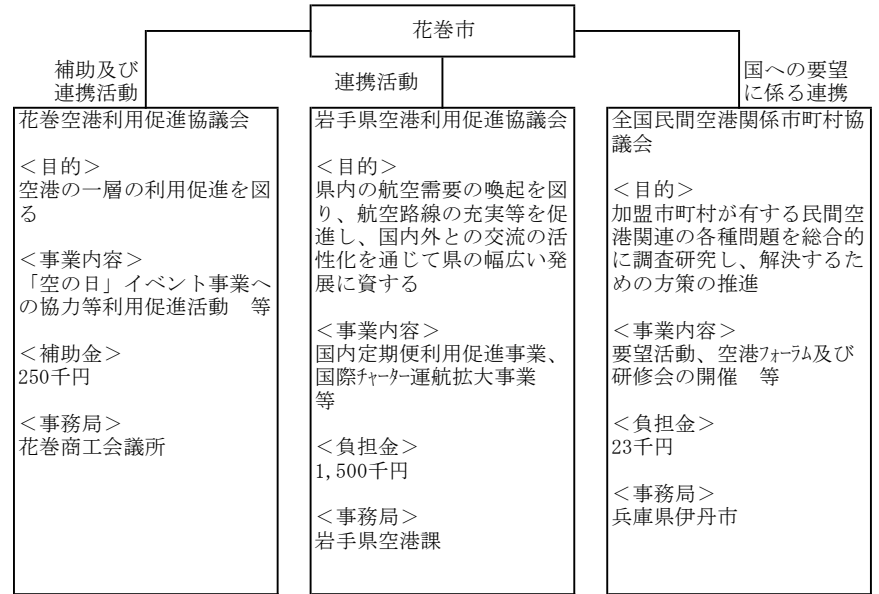
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 商工観光課 課名 観光課 担当係長 川村 紳 内線 288

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

① 空港利用促進関係団体への支援 1,773千円



② 要望活動、PR活動 363千円

全国民間空港関係市町村協議会（総会、国要望活動、フォーラム）
就航先都市でのPR活動（名古屋、福岡）等

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	07	124300	公共交通確保対策事業	
総合計画	分野 暮らし					
	政策	2-2 生活基盤の充実				
	施策	2 公共交通の確保				
目的	コミュニティバスの運行や民間路線バスへの補助を行い公共交通サービスを確保するため					
対象	公共交通を必要とする市民					
意図	利用しやすい公共交通サービスを提供する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
〇バス運行業務等委託 予約乗合バスシステム運用管理・導入業務（石鳥谷地域、東和地域、大迫地域）市街地循環バス増使用車両の整備、大迫バス待合所新築工事設計業務等 〇バス等運行事業費補助 市街地循環バスふくろう号・星めぐり号、大迫地域公共施設連絡バス、大迫・花巻地域間連絡バス、県立中部病院連絡バス、予約応答型乗合交通（石鳥谷地域、東和地域、大迫地域、湯口地域）、広域生活路線バスの運行補助金の交付 〇その他 バス路線マップ、時刻表等の作成、利用促進企画バス借上げ等						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 〇 補助・助成	事業協力・協定 〇 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	幹線路線バスの利用者数	人	計画	332,000	332,000	
			実績	332,943	326,390	
②	市街地循環バスの利用者数	人	計画	52,000	58,500	
			実績	55,182	66,488	
③	予約応答型乗合交通の利用者数	人	計画	10,800	12,400	
			実績	10,178	11,714	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	日常生活で公共交通を利用できる市民の割合（市民アンケート）	%	目標	76.2	76.2	
			実績	74.9	73.0	
②	公共交通に満足している市民の割合（市民アンケート）	%	目標	43.0	43.0	
			実績	44.8	42.7	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		〇	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
路線バスの利用者が減少傾向にある中で、利用促進事業により幹線路線バスの利用者数を維持することができた。また、市街地循環バスを平成30年10月から増便し利便性を向上するとともに、大迫花巻地域間連絡バス、予約応答型乗合交通などのコミュニティバスの運行により、公共交通を必要とする市民等の移動手段を確保することができた。 大迫地域においては、民間路線バスが廃止されるにあたり、予約応答型乗合交通「予約乗合バス」を導入し、地域住民の生活交通の確保を図った。 活動指標及び成果指標について、H29.6月策定の花巻市地域公共交通網形成計画（計画期間：H29～35）に掲載している指標との整合性を図るため、H30から指標を変更した。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない 公共交通サービスは、交通弱者の移動手段の確保のみならず、市民の日常生活における利便性の向上や市街地の活性化に資するものであり、公共関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない H29.6月策定の花巻市地域公共交通網形成計画に基づき、計画に掲載している公共交通サービスの利便性を高める事業を順次展開していくことで、成果の向上が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 民間路線バスの廃止等に伴い、利用者の予約に応じて運行する予約応答型乗合交通の導入を進める等、効率的な公共交通サービスの提供を推進している。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 路線競合に配慮しながら交通空白地の解消に努めており、受益機会は適正である。また、受益負担についても、定時定路線については利用距離に応じた設定としているほか、区域運行については統一料金としており、適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
路線バスの利用者が減少傾向にある中で、利用促進事業により幹線路線バスの利用者数を維持することができた。また、市街地循環バスを平成30年10月から増便し利便性を向上するとともに、大迫花巻地域間連絡バス、予約応答型乗合交通などのコミュニティバスの運行により、公共交通を必要とする市民等の移動手段を確保することができた。 特に、大迫地域においては、民間路線バスが廃止されるにあたり、予約応答型乗合交通「予約乗合バス」を導入し、地域住民の生活交通の確保を図っており、今後は、必要とする人が利用できるよう周知を図っていききたい。 また、平成31年9月末に笹間地区を運行する民間バス路線が廃止されることから、太田地区と合わせた西南地域に平成31年10月から予約応答型乗合交通を導入する予定としており、地域説明会を開催し導入に向けた準備を行っている。今後も関係機関との調整、利用方法の周知などを行っていく。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	07	124300	公共交通確保対策事業

単位：千円				
	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	89,300	106,368		17,068
財 源 内 訳	国・県	2,958	3,736	778
	地方債	28,600	44,400	15,800
	その他	1,643		△ 1,643
	一般財源	56,099	58,232	2,133

※特定財源の内訳
 県：3,736（地域バス交通支援事業費補助金2,708 補助率1/2、地域公共交通活性化推進事業補助金1,028 補助率1/2）
 地方債：44,400（過疎対策債：大迫・東和予約乗合、大迫花巻地域間バス等43,800、合併特例債：大迫バス待合所新築工事関係600）

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標
 公共交通の利便性を図ります。

事業開始の背景・経緯
 バス利用者数の減少による民間路線バスの撤退、市街地の活性化や合併による直通バスの確保などの課題に対し、公共交通を必要とする市民等にとって、利用しやすい公共交通サービスを提供

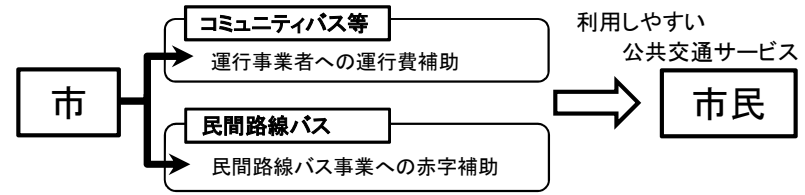
事業概要
 バス運行业務等委託
 予約乗合バスシステム運用管理・導入業務（石鳥谷地域、東和地域、大迫地域）市街地循環バス増便用車両の整備、大迫バス待合所新築工事設計業務等
 バス等運行业務費補助
 市街地循環バスふくろう号・星めぐり号、大迫地域公共施設連絡バス、大迫・花巻地域間連絡バス、県立中部病院連絡バス、予約応答型乗合交通（石鳥谷地域、東和地域、大迫地域、湯口地域）、広域生活路線バスの運行補助金の交付
 その他
 バス路線マップ、時刻表等の作成、利用促進企画バス借上げ等

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）
 ・花巻市地域公共交通網形成計画に基づいた新たな公共交通施策の展開が求められている。（平成30年度＝大迫地域への予約乗合バスの導入、ふくろう号の増便、交通結節点の整備、情報発信と利用促進）
 ・幹線路線である大迫石鳥谷線及び大迫花巻線の維持・利便性向上のための方策が求められている。

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当係長 高橋 和司 内線 562

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①バス等運行业務委託 10,502千円

項目	事業費	内容
予約応答型乗合交通 (大迫地域、石鳥谷地域、東和地域)	5,400	大迫・石鳥谷・東和地域の予約乗合バスのシステム運用管理業務委託、大迫地域予約乗合バスのシステム導入設定委託、データ分析業務委託、乗降場所及び路線バスとの結節点表示作成業務委託等
バス車両整備維持管理	5,102	所有バス整備維持管理業務委託、市街地循環バス表示板作成業務委託等

②設計等業務委託料 734千円

大迫バスターミナル跡地の大迫バス待合所新築工事設計業務

③整備・清掃等業務委託料 56千円

大迫バスターミナル跡地の仮設トイレ清掃業務

④バス等運行业務補助 90,795千円

項目	事業費	内容
市街地循環バス (星めぐり号、ふくろう号)	15,274	市街地の公共施設、医療機関等を循環するバス(星めぐり号・ふくろう号)の運行に要する補助(毎日、左回り10便、右回り10便)
大迫・花巻地域間連絡バス	18,139	大迫地域から花巻中心部への直通バスの運行に要する補助(平日4往復・土日2往復)
県立中部病院連絡バス	1,675	大迫地域から県立中部病院までの直通バスとして大迫・花巻地域間連絡バスを花巻駅から延伸するバス運行に要する補助(平日4往復)
大迫公共施設連絡バス	128	大迫地域内の公共施設や医療機関等を循環するバスの運行に要する補助(平日1便)(平成30年9月末廃止)
予約応答型乗合交通 (大迫地域、石鳥谷地域、東和地域、湯口地域)	34,799	交通不便地域の解消、利便性の向上、運行の効率化を目的に実施している予約応答型乗合交通の運行に要する補助(石鳥谷地域、東和地域、湯口地域)及び車両購入に係る補助
広域生活路線バス	20,780	市内を運行している民間事業者の路線バスのうち、不採算路線の運行維持に要する補助(県補助2路線、市単独補助4路線)

⑤その他 4,281千円

○地域公共交通会議委員報酬 168千円

○啓発用印刷物等 4,113千円 (公共交通マップ・バス時刻表の作成、車庫光熱水費等)

公共交通確保対策事業料

平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	07	124300	公共交通確保対策事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■民間路線バス

H31.3.31現在

No.	種別	路線名	運行形態	料金形態	起終点	起終点	所要	市補助	その他補助	備	考
1	幹線	石鳥谷線	定時定路線	距離制	志和口	北上駅前	65		国・県各1/2		
2	幹線	土沢線	定時定路線	距離制	土-ヨーカ-	雲南桜前	40		国・県各1/2	H26.4.1路線縮小(晴山～雲南桜前・土沢中町～東和病院)	
3	幹線	成田線	定時定路線	距離制	花巻北高	北上駅前	52	◎	県・市各1/2	北上市距離按分 花巻市分8.6km	
4	幹線	大迫石鳥谷線	定時定路線	距離制	大迫BT	石鳥谷駅前	27	◎	県・市各1/2		
5	支線	大迫紫波中央駅線 (H30.9月末廃)	定時定路線	距離制	大迫BT	紫波中央駅	36	○		紫波町距離按分 花巻市分9.95km	
6	支線	教育センター線	定時定路線	距離制	花巻駅前	教育センター	32	○		H26.4.1路線縮小(教育センター～新湯本温泉)	
7	支線	栃内線	定時定路線	距離制	花巻駅前	尻平川	34	○			
8	支線	高木団地線	定時定路線	距離制	土-ヨーカ-	高木団地	15			H26.4.1路線再編(母衣輪線・更木線一部路線廃止)	
9	支線	天下田団地線	定時定路線	距離制	天下田団地	花巻市役所前	14	○			
10	支線	長崎線 (H30.12月末廃止)	定時定路線	距離制	大迫BT	長崎	13			※補助対象系統の廃止により、補助路線から除外(H28～)	
11	支線	太田線	定時定路線	距離制	花巻駅前	清風支援学校	17				
12	支線	花巻北高線	定時定路線	距離制	花巻駅前	花巻北高前	10				
13	支線	堅沢線 (H30.12月末廃止)	定時定路線	距離制	大迫BT	堅沢	28				
14	支線	旭の又線 (H30.12月末廃止)	定時定路線	距離制	大迫BT	合石	26				
15	支線	黒森線 (H30.12月末廃止)	定時定路線	距離制	大迫BT	黒森	29				
16	支線	早池峰線 (H30.12月末廃止)	定時定路線	距離制	大迫BT	岳	37				
17	自主	湯口線	定時定路線	距離制	土-ヨーカ-	新鉛温泉	37				
18	自主	花巻温泉線	定時定路線	距離制	賢治詩碑前	台温泉	38				
19	急行	急行大船渡盛岡線	定時定路線	距離制	盛岡駅	県立大船渡病院	72			H26.9.20一部経路変更(高速利用東和経由)	
20	急行	急行釜石盛岡線	定時定路線	距離制	盛岡駅	大槌中央公民館	184				
21	その他	花巻空港線	定時定路線	均一制	盛岡BC	花巻空港	60				

■コミュニティバス・・・市で企画し運行事業者が許可を得て運行するバス等

No.	種別	路線名	運行形態	料金形態	起終点	起終点	所要	区分	備	考
1	幹線	大迫・花巻地域間連絡バス	定時定路線	距離制	大迫BT	花巻駅前	45	補助	平日4往復、土日祝2往復	
2	-	県立中部病院連絡バス	定時定路線	距離制	花巻駅前	県立中部病院	24		平日4往復 ※上記大迫・花巻連絡バスの延伸	
3	循環	市街地循環バス	定時定路線	均一制	土-ヨーカ-	土-ヨーカ-	48	補助	1日20便(左回り「星めぐり号10便・右回り「ふくろう号10便」)	1乗車100円
4	循環	公共施設連絡バス (H30.9月廃止)	定時定路線	無料	大迫BT	大迫BT	15		平日 1便	
5	デマンド	大迫地域予約乗合バス	区域運行	均一制	大迫地域全域		-		週3日 8時から17時運行 1乗車400円 ※H30.10.1～	
6	デマンド	石鳥谷地域予約乗合バス	区域運行	均一制	石鳥谷地域全域		-		週3日 8時から17時運行 1乗車400円 ※H29.2.1～	
7	デマンド	東和地域予約乗合バス	区域運行	均一制	東和地域全域		-		週3日 8時から17時運行 1乗車400円 ※H29.10.1～	
8	デマンド	湯口地区予約乗合タクシー	定時定路線	距離制	野田十文字	上円藤	10	補助	週3日 1日3便 ※県交通鍋倉線廃止に伴いH26.4.1から運行	

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	04	05	184290	都市施設機能改善事業費	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	2	公共交通の確保			
目的	駅周辺施設の機能向上を図り、快適で利便性の高い交通広場環境を提供する					
対象	駅利用者					
意図	車両での駅利用時における安全で快適な駐車環境を確保する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
1. 新花巻駅・花巻駅駐車場整備 9,512千円 照明改修、案内板更新、防犯カメラ設置 2. 新花巻駅臨時駐車場整地 5,760千円 土地開発基金で取得する土地(矢沢3号児童公園西側)を臨時駐車場として利用できるように整地						
市民参画の有無 【 無 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	発注	件	計画	2	2	
			実績	2	6	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) 事業の性質上、活動実績そのものが成果であることから、成果指標は設定しない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	不特定多数の人が利用する交通広場の施設改善は管理者である市が行うべき事業である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	平成30年度の施設改善事業を踏まえ、より快適で利便性の高い交通広場環境の創出に向けた事業を構築する。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	適切な設計による妥当な事業費であり、また、職員が行うのは発注・監督等必要最小限の業務であることから削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	有料駐車場は設置意図に則した適切な料金を利用者から徴収し維持管理費に充当していることから見直し余地はない。臨時駐車場の料金徴収適否は、実施手法、経費や手間の負担、利用頻度、拡張整備の方向性などを踏まえた今後の検討課題である。
総合評価 …上記評価結果の総括 平成30年度の事業は目的・手法とも適切で妥当な内容であった。令和元年度以降は、施設の利用状況・見込み、利用者の声、費用対効果などを踏まえ、新花巻駅駐車場の拡張整備等を行う必要がある。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	04	05	184290	都市施設機能改善事業費

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		75,743	15,272		△ 60,471
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	75,743	15,272		△ 60,471

※特定財源の内訳

--

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標
都市施設の利便性向上を図る

事業開始の背景・経緯
平成27～29年度にかけて新花巻駅西側の無料駐車場を順次整備・有料化し、マナー違反車両対策と駅利用者の利用環境向上を図った。新花巻駅駐車場は、混雑時に不足が生じていることから、拡張予定地を臨時利用する必要があり、また、東駐車場も老朽化により環境整備が必要になっている。

事業概要
1. 新花巻駅・花巻駅駐車場整備 9,512千円
照明改修、案内板更新、防犯カメラ設置
2. 新花巻駅臨時駐車場整地 5,760千円
土地開発基金で取得する土地(矢沢3号児童公園西側)を臨時駐車場として利用できるように整地

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)
・駐車場の利用者から照度の改善、防犯対策の強化、駐車場の誘導表示増設、混雑時における駐車場不足対応等の要望が出されている

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当係長 吉越 内線 566

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1. 新花巻駅・花巻駅駐車場整備 9,512千円

- [新花巻駅駐車場]
◇照明改修 3,067千円
▶照明増設 東駐車場1基
▶照明器具LED化、安定器・配線交換
◇案内板更新 1,553千円
▶新花巻駅・駐車場誘導案内板 1基(県道東和花巻温泉線沿い)

- [花巻駅駐車場]
◇防犯カメラ設置 4,892千円
▶防犯カメラ設置 南駐車場(第1)2基、(第2)2基

2. 新花巻駅臨時駐車場整地 5,760千円

- ◇矢沢3号児童公園西側土地の整地 *平成29年取得用地(土地開発基金)
▶路盤、砕石(現状は緩い草地状態→車両を駐車できるように)
▶駐車可能台数 77台
[臨時利用状況] 混雑時に駐車場の不足が生じた際に臨時的に利用
【時期】GW、3連休、SW、J R企画(大人の休日倶楽部)、お盆、年末年始ほか
【H30t~7時】11月23-25日三連休 全895台

